

堺時雄関係作品資料について I

藤田裕彦

1. はじめに

新潟県立万代島美術館では2005年3月5日から4月24日までの会期で「7人の新潟の写真家たち」展の開催を企画した。本展は当館の所蔵する岡田紅陽、蕪木研爾(一部はご遺族より借用)、牛腸茂雄、濱谷浩、渡辺義雄と佐渡博物館から近藤福雄作品を、堺時雄ご遺族から堺時雄作品をそれぞれ借用し、新潟県を代表する物故写真家7人の代表作品を一堂で紹介するというものである。

堺時雄作品に関しては当館では1点も所蔵していないことから、ご遺族との展覧会出品交渉を行った。その経緯の中で、展覧会への出品とともに、堺時雄作品及び資料の一括寄贈の申し出を頂いた。

内容を眺めてみると、堺時雄の作品をはじめとして、父・金井弥一作品、そして堺時雄、金井弥一が所蔵していた写真資料があり、その中には明治、大正期の絵葉書やカードなどが含まれている。

金井弥一と堺時雄は新潟県出身の写真家であると同時に、明治・大正・昭和初期の日本の写真の黎明期に「芸術写真」の制作を行い、万国博覧会等で発表を続けた人物である。新潟では金井写真館の名称とともに知られているが、国内ではあまり知られていない。堺時雄は現在までに、いくつかの国内の展覧会で紹介されているが^(註1)、戦後、父・金井弥一の作品が紹介されたことはほとんどないと言える。その意味でも、新潟の写真語る上で欠くことのできない作家であることから、2004年度に収集させて頂くこととなった。

さて、これらの資料を調査し始めると、金井弥一、堺時雄の重要な写真作品であると同時に、日本の戦前期の写真資料としてもきわめて貴重であることが分かった。例えば、日本写真の開祖の2人の内の一人と言われる下岡蓮杖^(註2)から、門下生・鈴木真一、その弟子、金井弥一、そして堺時雄に連なる流れを資料から見ることできる。本来であれば、完全に調査を完了してからその全貌を紹介することも考えた。しかし、基本的な項目、例えば制作年や主題が不詳なものも多いことも事実であり、現段階で紹介することで、リスト上の間違いのご指摘や新たな作品情報も得られると判断した。堺時雄氏ご遺族からご寄贈頂いた資料が、日本の写真史を知る上で、新たな貴重な資料となる可能性もある。是非、忌憚のないご意見を頂ければと考えている。

2. 金井弥一と堺時雄について^(註3)

金井弥一は塩谷の屋号で木綿商を営む常助の娘シヅとその婿弥一郎の息子として1854(嘉永7)年に生まれた。その後、父・弥一郎とシヅは離縁、明治5年の新戸籍法により塩谷常助は金井常助と改名し、金井弥一となった。幼少の頃、白山神社の覗き眼鏡に興味を覚えた弥一は、その背景となった写真に興味を持つようになり、明治12年、弥一が14歳の時に東京九段下の鈴木写真館に入門した。鈴木写真館の鈴木真一は下岡蓮杖に師事したこともあり、当時の写真館としては名門であったと言えよう。弥一はその間一度も離縁せず、明治19年に開業を許されるまで、7年間修業に厳んだ。晴れて新潟に帰郷する際には、師である鈴木真一は寒さをしのぐストーブと、自らが撮影した皇族と外国公使らの写真を、弥一の写真館開業のために与えたとのことである。今回の寄贈作品を眺めて

(註1)

堺時雄作品が展示された展覧会

「日本のビクトリアリズム—風景へのまなざし」(東京都写真美術館 1992年8月28日~10月13日)

「新潟県美術館開館25周年記念 郷土が生んだ美の先達25人展」(新潟県美術館 1992年10月2日~11月3日)

「20世紀美術日本再見I 1910年代」(三重県立美術館 1995年10月28日~12月3日)

(註2)

長崎の上野彦馬と横浜の下岡蓮杖の2人が日本の写真の開祖とされ、当時は「東の下岡蓮杖、西の上野彦馬」と呼ばれた。ともに1862(文久2)年に開業している。但し主題は上野が坂本竜馬や桂小五郎といった当時の有名人をはじめとした人物写真が多いのに対して、下岡蓮杖は風景や当時の風俗を撮影したものが多かったようだ。

(註3)

本稿における金井弥一及び堺時雄の年譜に関しては下記文献を参考としている。
「父 金井弥一と我が来し方 明治の写真師」堺時雄(聞き書・妻 柳女) 新潟明治大正文化研究会叢書 昭和63年

みると、弥一が撮影した後藤新平(大正9年に東京市長となる)や板垣退助らの写真に混じって、名の分からない高貴な人らしい肖像写真や、鈴木真一の撮影と思われる、下岡蓮杖の肖像写真が含まれているが、これはその際に鈴木から弥一がもらったものが、弥一の写真と混ざって、堺時雄に渡ったものと考えることが自然であろう。

故郷に戻った弥一は明治21年、市内の新堀通(現・南浜)に金井写真館を開業し、その当時の県知事から懇意にされるようになる。明治23年に第3回内国勸業博覧会に写真作品を出品、優等褒状を得る。ちなみに下岡蓮杖と並ぶ西の写真の開祖の一人、上野彦馬はこの展覧会で有功賞を得ている。明治28年の第4回内国勸業博覧会では弥一が有功賞牌を得、さらに明治33年のパリ万国博覧会では名誉賞牌を得る。また明治30年には南浜2番町に閉校となった新潟キリスト女学校を買取り、金井写真館本館として開業するなど、写真館の経営者としても活躍するようになった。以後も明治36年の第5回内国勸業博覧会では優等褒状、明治37年のセントルイス万国博覧会でも名誉賞牌を受賞している。

堺時雄は明治31年に金井弥一の三男として生まれ、大正2年に大叔母・堺イチと養子縁組により堺姓となる。もともと絵画が好きであったが、恩師の薦めもあり東京美術学校臨時写真科への進学を勧められ、大正8年に東京美術学校臨時写真科に入学する。

臨時写真科は3年制で大正4年から東京美術学校に開設された(大正15年に廃止となり、臨時写真科は同年に東京高等工芸学校(現・千葉大学)の印刷工芸科に附属写真部として移管された)。廃止されるまでの卒業生は臨時写真科と写真科を併せてもわずかに52名であるが、卒業生の中にはハナヤ勘兵衛らと「芦屋カメラクラブ」をつくり、新興写真運動で活躍した中山岩太やオリエンタル写真工業の技術者として、また新興写真運動でも活躍、後に東京写真短期大学(現・東京工芸大学)の教授となった古川成俊ら(古川成俊は「堺の同級生であり、堺が撮影した《死の花》(紙焼写真I No.20)のモチーフである頭蓋骨を提供」(註4))。堺自身の入学時も同科の同級生は前述の古川を含めて5人である(後に一人退学)。講師は鎌田弥寿治教授(工芸化学)、森芳太郎教授(物理学・化学・写真術)、久米福衛講師(写真実習)、成田降吉講師(写真実習)らが担当した。写真の基礎と実技、化学、物理、デッサンの授業が行われていた以外、どのような授業が行われていたか今日では知る由もないが、堺自身はかなり充実したものであったと述べている。

その後、大正11年の万国平和展覧会(東京、上野)に入賞、卒業後は父・弥一の金井写真館で働き、一時期、志願兵として岐阜県の各務ヶ原の飛行第2大隊に入隊、除隊後は主婦之友社の写真部次席を務めている。父・弥一が昭和10年に急逝すると、故郷に戻り金井写真館を引き継ぎ、昭和16年に召集されるまで写真家として活躍した。復員後、堺時雄はほとんど専門的な写真家としての活動はやめてしまったため、当館に一括寄贈になった作品のほとんどはこの頃までに撮影されたものである。その意味に於いても貴重な作品群であることがわかる。

3. 寄贈作品及び資料の内容

作品及び資料は①紙焼写真(534点)、②ガラス原板及びフィルム(841点)、③その他

(註4)

古川成俊(ふるかわなるとし 1900-96) 佐賀県出身。父も日本の黎明期の写真に貢献した古川俊平。1922年東京藝術大学臨時写真科卒業。卒業後はオリエンタル写真工業社で技術者となる。新興写真研究会ではフォトモンタージュ作品を発表。1962年東京写真短期大学(現・東京工芸大学)教授となり、1982年に名誉教授となった。

なお、その当時のエピソードは下記の通り。

「また同級生の1人に古川君というのがいた。九州の医師の俸で、ある時、家から頭蓋骨を持って来た。彼の家は藩医の出で、罪人の首を貰い受けて作ったものだという。早速それを借りて洋書の上に据え、傍らに連翹の一枝とローソクを立てた燭台を置いて撮影、それをゴム印画に作成して「死の花」と題し、コンクールに入選した思い出の写真がある。古川君は「してやられたり」と残念がった。」

『父 金井弥一と我が来し方 明治の写真師』堺時雄(聞き書・妻 柳女)
新潟明治大正文化研究会叢書 昭和63年 p84

資料(36件)の3つに分けることができるが、総数としては1,200点を超える膨大なものである。当然ながら、全てが作品というわけではない。①紙焼写真の534点の内の372点は10cm以下の小さいものであり、単に小型であるからというわけではないが、堺自身が写真作品として意識して制作したものとは考えにくく、即、作品として捉えることは難しい。また、②ガラス原板及びフィルムは、現在、ガラス原板を使用した写真制作が行われていない上に、今後、現像したとして、作品として準じるものとして捉えるべきかどうかという点も含めて、今のところ留保せざるを得なかった。③のその他資料では堺自身が集めていた当時の写真や、16mmフィルム、スナップ写真アルバム、絵葉書帖などが含まれており、今後の調査が必要となる。

以上の理由から、「7人の新潟の写真家たち展」への作品としての出品、及び2004年度への収集委員会へ諮る作品としては①の紙焼写真534点中、参考程度の小品372点を除いた162点の中から堺自身が作品として想定していたもので、かつ質的に作品として考えて良いものを絞り込んだ。次に作品の中の一部に堺時雄の父、金井弥一の作品も含まれていたことから、明らかに堺時雄によるものを抽出し、さらに同じバージョンがある作品に関してはその中で最良と思われるプリントを選び、計47点を選定した。

無論、47点以外を作品と認めないということではなく、今後の調査によっては、随時、作品化できるよう進めていく予定である。

4. 制作年の設定について

近年『東京都写真美術館紀要 No. 4』（東京都写真美術館 2004年）が刊行され、その中で金子隆一氏による「東京都写真美術館所蔵の堺時雄関係資料について」が掲載されている。この中では東京都写真美術館が平成3年度に収集した堺時雄関係資料の1919年から1941年までの総リストが、金子氏の詳細な解説とともに紹介されており、今後の堺作品の調査・研究に有益な資料となっている。当館に収蔵されている作品の制作年の設定についても参考にさせて頂いた。ただ、金子氏の文の「リストの分類について」の中で「リストにはそれぞれ時代区分の名称をつけてある^(註5)。それはいくつもの写真プリントの裏面に「主婦之友時代」「南浜時代」などのメモ書きが、また小さな写真を取めてある封筒の表書きに同様のメモが見られることによっている。」と記載されているが、当館に収蔵されている作品にはメモ書きがついていないものも多く、またついていても必ずしも、メモ書きと作品が対応していないものも数多く見られた。その点では独自の判断で制作年の設定をせざるを得なかった。以上から下記の通り制作年の設定を行った。

- ① 作品そのものに制作年の記載、あるいはその類があるもの(上記でいうメモ書き)についてはそれを制作年とした。
- ② 制作年が不明なものの中で、『東京都写真美術館紀要 No. 4』の中で類似の作品であると判断されたものについては、その制作年に準じた。
- ③ 作品主題が堺時雄年譜と照らし合わせた際、年譜の出来事と対応していると考えられるものについてはその制作年とした。

例 75《女性の肖像》→主題的に「主婦之友」のものと想定→1928～33年

但し富士山を題材にしたものは「C. 各務ヶ原航空時代 1922～1926」と「F. 市ヶ

(註5)

「東京都写真美術館所蔵の堺時雄資料について」金子隆一『東京都写真美術館紀要No. 4』p41-42

尚、この中で金子氏は堺時雄作品を下記のように分類している。当館も制作年不詳の作品について一部を下記分類に準じた。

- A. 美校時代(1919-1922)
- B. 本館時代(1922-1926)
- C. 本店時代(1922-1926)
- D. 主婦之友社時代-ポートレート
(1928-1933)
- E. 主婦之友社時代-広告写真
(1928-1933)
- F. 市ヶ谷左内町時代(1928-1935)
- G. 南浜本店時代(1936-1941)
- H. 写真アルバム(1936-1941)

谷左内町時代一広告写真 1928~1935」の二つの時代に撮影されており、対象が富士山であっても特定できないことが分かった。一応、前者としたが、今後の再調査が必要である。

- ④ 紙焼き写真とガラス原板に同一のものが見られ、ガラス原板に記載があるものはそれに準じた。
- ⑤ 上記のいずれにも含まれないものは不詳とした。

5. 作品名称の設定について

作品名称についても基本的に制作年と同じ方法論を用いているが、数多くの作品に名称は付けられていなかった。詳細は下記の通り。

- ① 作品自体に書き込み、付随メモ、入っていた封筒など何らかの記載があるものはそれをタイトルとした。
- ② タイトルのわからない人物作品で被写体分かるものはそれをタイトルとした。
- ③ 『東京都写真美術館紀要 No. 4』の中で類似の作品であると判断されたものについては、その名称とした。ただし、堺時雄は全く同一の作品であっても別の名称を付けることもある為、作家自身の記載があるものに関してはそれに準じている。
- ④ 上記に関連して、一つの作品に2つ題名が付いているものに関しては両表記した。
例 525《芸術は不朽》あるいは《秘魂の墓》
- ⑤ 上記以外のタイトル不明の作品については、タイトルを一括不詳とし、作品主題を（ ）内に記載した。

6. 堺時雄関係作品資料リスト

堺時雄及び関連資料Ⅰ—紙焼写真

※・紙焼写真の内、網掛がある写真は2004年度に作品化している。

・155～526番代の作品に関してはほとんどが10cm四方以下の作品のため、今回は個別タイトル及び作品イメージは付けていない。今後、調査の上、掲載する予定である。

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
1	不詳	乃木大将	不詳	17×23.4			
2	堺時雄	不詳	1922	30×25.3			
3	堺時雄	大連郊外	1922	28×20.5	作品裏面に「T11美校2年重雄弟ト 佐藤宅へ同校の時」と記載あり		
4	堺時雄	修道院の壁	1921	29.5×24.5			
5	堺時雄	不詳(富士山?)	1922-26	22×30.3			
6	堺時雄	富士山暮色中庭	1922-26	21.3×29.3	作品裏面に「左内町時代」と記載あり		
7	堺時雄	戦闘中の美観	1935	24×29.8	作品裏面に書題「戦闘中の美観 [第一回アジア写真サロン 昭和16年入選] 及び [堺時雄]」、作品表面右上にT.Sakai 1935と記載あり		
8	堺時雄	不詳 (軽井沢万平ホテル?)	不詳	18.5×26			
9	堺時雄	不詳 (ビクターレコード)	1920s	18.5×26			
10	堺時雄	不詳 (母と二人の子ども?)	1921-22	15.5×11			
11	堺時雄	邁進の意気	1923	28×23.5	作品裏面に「卒業制作はこの写真の 全紙版(カーボン陰画法)、モデル久 本春雄」と記載あり		モデルは当時、同校洋画科で 柔道部主将であった久本春雄 二段である。
12	堺時雄	シルエット	1926	28×21.5	作品表面右下にT.Sakai 1926と 記載あり		
13	堺時雄	築地	1928	24.5×28.3			紙焼写真No.66のバージョン 違い
14	堺時雄	異人池(新潟カトリック 教会付近)	1922	28.8×21			紙焼写真No.67のバージョン 違い
15	堺時雄	不詳(婦人像 横顔)	1926	21.5×14.5			

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
16	堺時雄	ソフィア (婦人像 正面)	1926	26×20			紙焼写真No.18のバージョン 違い
17	堺時雄	ソフィア (婦人像 斜め右向)	1926	27.3×21.8			
18	堺時雄	ソフィア (婦人像 正面)	1926	30.5×25			
19	堺時雄	《窓辺》あるいは《窓辺 の女の子》	1927	30.5×25			
20	堺時雄	死の花	1920	16.5×11.8	裏面に「学校において写す二年」と 記載あり。尚、東京都写真美術館に サイズの異なる同作品が収蔵され ており、そちらの作品名は《哲学》と なっている。		同級生の一人古川君は、九州の医者 の息子で、ある時、家から頭蓋骨を持 ってきた。瀧医の出であり罪人の首を 貰い受けたという。それを借りて洋 書とローソクをあしらいゴム印画で 撮影したもの。コンクール入選作。
21	堺時雄	不詳(外人墓地?)	1928-33	21.8×29			
22	堺時雄	築地	1927	25.3×30.3			紙焼写真No.66のバージョン 違い
23	堺時雄	不詳(海)	1922-26	24.1×37.4			
24	堺時雄	不詳(外国の教会)	不詳	25×33			
25	堺時雄	不詳(海・せせらぎ)	1922-26	23.8×29.5			
26	堺時雄	不詳(山脈と雲)	1922-26	23.1×30.8			
27	堺時雄	不詳(睡蓮)	不詳	22.3×29.3			
28	堺時雄	不詳(ハンカチとク ローバーのモンター ージュⅠ)	1920s	25.5×30.5			
29	堺時雄	不詳(ハンカチとク ローバーのモンター ージュⅡ)	1920s	25.5×30.5			
30	堺時雄	不詳(花のシルエット とレコードのモンター ージュ)	1920s	25.4×30.3			
31	堺時雄	カトリック教会(異人 池) 左手前猫山医院へ 向かう坂道	1922-26	7.3×10.1	作品裏面に「カトリック教会(異人 池) 左手前猫山医院へ向かう坂道」 と表記あり		

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
32	堺時雄	不詳(雪景色Ⅰ)	1922-26	11×16			
33	堺時雄	不詳(雪景色Ⅱ)	1922-26	15.8×11.3			
34	堺時雄	不詳(雪景色Ⅲ)	1922-26	11.4×15.7			
35	堺時雄	不詳(雪景色Ⅳ)	1922-26	10×15			
36	堺時雄	異人池	1922-26	16×11.5	作品裏に「異人池」と記載あり		
37	堺時雄	あしたの鐘	1928-35	14.9×19.2	裏に「あしたの鐘」牛込区市ヶ谷左内町廿二八堺時雄」とあり		
38	堺時雄	新潟カトリック教会付近	1922-26	15.1×25.4	裏に「新潟カトリック教会付近」と記載あり		紙焼写真No.67のバージョン違い
39	堺時雄	旅日記の一頁	1928-35	14.6×17	裏に「旅日記の一頁」牛込区市ヶ谷左内町廿六堺時雄」 撮影一月中旬晴 レンズ、デッサーC、フィルター、アグリファ号、絞りF6位、露出1/15 乾板 オリエンタルのポートレートスピーデー手帳 印画紙、オリエンタルのヴァルダイクブラウン 印画法、引伸 現像液メトールハイドルと記載あり		
40	弥一翁写	弥彦神社(旧)	不詳	21.8×27.8	「弥一翁写弥彦神社(旧)」と記載あり		
41	堺時雄	(婦人の肖像)	不詳	34.8×25.5			
42	堺時雄	記念写真	1921	11.1×15.7			大正10年3月皇后陛下行啓の際、御前作業をする。翌日その場を記念撮影(美校2年生の時)
43	堺時雄	(男の肖像)	不詳	26×20.8			
44	堺と貴雄	(幼子と鞍)	不詳	25×30			
45	堺時雄	(二人の女性の肖像)	不詳	25×27			
46	幸二兄	野口秀雄(世) 大野屋にて	不詳	14.7×10	幸二兄写 野口秀雄(世) 大野屋にて		

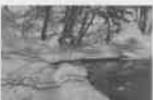
区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
47	弥一翁写・時雄焼付	籠手田知事	不詳	28×22.8	「弥一翁写・時雄焼付 籠手田知事」と記載あり		籠手田安定氏は第6代新潟県知事のこと
48	弥一?	横氏文夫・横山松三郎氏 金井弥一入門保証人	不詳	15.5×10.5	作品裏に「横氏文夫・横山松三郎氏 金井弥一入門保証人」と記載あり		横山松三郎は新潟の画家
49	弥一?	九段鈴木先生ご夫妻	不詳	16×10.5	「九段鈴木先生ご夫妻」と記載あり		金井弥一の師、鈴木真一は九段に住んでおり、このような表記となったと考えられる。
50	弥一?	鈴木真一先生ご夫妻	不詳	10.5×6.8	「鈴木真一先生ご夫妻」と記載あり		鈴木真一は写真家で、下岡蓮杖の門。金井弥一の師匠にあたる
51	金井弥一?	富山天地居士 娯情室	昭和5年	11×15	「為山天地居士 娯情室、昭和5年 娯情トハ畳四枚半板敷半畳」と記載あり		
52	鈴木真一?	下岡蓮杖翁(初代)	不詳	16.5×10.5	裏に「下岡蓮杖翁(初代)」と記載あり		印画紙の裏に鈴木真一の印刷があり、金井の師、鈴木撮影したものが、金井を経て塚に渡ったと考えられる。
53	鈴木真一?	下岡蓮杖翁(初代)	不詳	14.7×10.7	裏に「下岡蓮杖翁(初代)」と記載あり		印画紙の裏に鈴木真一の印刷があり、金井の師、鈴木撮影したものが、金井を経て塚に渡ったと考えられる。
54	金井弥一?	(卒業? 記念写真)	不詳	10.5×14.5			
55	金井弥一?	九段子鬼「パイに」ヤスッチ	不詳	10.8×16.3	裏面に「九段子鬼「パイに」ヤスッチ」と記載あり		
56	金井弥一?	大朝鮮大使朴泳孝氏の像	不詳	16.9×10.9	裏面に「大朝鮮大使朴泳孝氏の像」と記載あり		
57	塚時雄	羽下大化氏と家族の肖像	不詳	10.8×14.8	14点が一袋に入っており、袋の外側に「羽下大化氏自宅へ出写」と記載あり		羽下大化氏は彫刻家の羽下修三氏のこと、塚時雄とは東京美術学校県人会で共に発表した間柄。大正10年7月18日に金井写真館本店で「東京美術学校県人会展」を開催している。出品者は塚、羽下のほか、岩田正巳(日本画)、広川操一(日本画)等12名が参加した。
58	塚時雄?	不詳(女性の肖像)	不詳	22.5×27.8	作品の入っていた袋の外側に「塚ミサホ」と記載あり。ただし、真偽は不明。		→その後の調査で別人と判明。
59	塚時雄	不詳(海辺)	1922-26	24×44.8			紙焼写真No.23のバージョン違い。但しトリミングと紙の処理は異なる。
60	塚時雄	不詳(猫柳)	1922-26	45×34			
61	塚時雄	不詳(雲)	1922-26	26×45			

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
62	堺時雄	雲17	1922-26	23×45.5			
63	堺時雄	富士山	1922-26	29×55			
64	堺時雄	ソフィア (若い女性の肖像)	1926	29.2×21.2			紙焼写真No.18のバージョン 違い
65	堺時雄	不詳(波)	1922-26	28×42.2			
66	堺時雄	築地	1927	24.5×28	表の左上に「T.Sakai 1927」と記載 あり		
67	堺時雄	異人池(新潟カトリック 教会付近)	1922-26	44.9×30			
68	堺時雄	不詳(海辺の風景)	1922-26	24.8×44			紙焼写真No.23のバージョン 違い。但しトリミングと紙の 処理は異なる。
69	堺時雄	不詳(海辺の舟)	1922-26	25×42.2			
70	堺時雄	不詳(波)	1922-26	27×42.2			
71	堺時雄	新潟砂丘(本館時代)	1936-41	27×42.2			
72	堺時雄	禪(蟬?)古の閑	1928	27×41.8	表に「1928 さかひとあり」、裏に「禪 (蟬)古の閑 堺時雄」と記載あり		
73	堺時雄	不詳(《海辺》あるいは 日本海の落日)	1922	28.5×41			
74	堺時雄	不詳 (花と骸骨のコラージュ)	1920s	45.5×55.5			
75	堺時雄	不詳(女性の肖像)	不詳	45.5×34.2			
76	堺時雄	静物	昭和5年	21×21.6	「主婦の友時代 習作 静物(S5) と記載		
77	堺時雄	邁進の意気	不詳	25×21.6	*東京美術学校卒業制作作品		紙焼写真No.11のバージョン 違い

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
78	堺時雄	ヘティ	不詳	30.2×24.2	「ヘティ(高勇吉 セロリスト婦人)」と記載あり		
79	堺時雄	不詳(お手前の景)	1936-41	44.5×56			
80	金井弥一?	不詳(女性の肖像)	不詳	23.7×29	「此国勲業博覧会へ出品」と記載あり		
81	金井弥一	信濃川河口	不詳	18.2×23.6	「信濃川河口 弥一翁写ス」と記載あり		
82	金井弥一?	カルテス氏 (岡本小路異人館住) オキナ屋の八重 (後の藤間静枝)	不詳	12×9 14×9.5	裏に3人の男の肖像、右端の男の端に「布施孝花?」、「長岡清水土木業者?」と記載あり		
83	金井弥一	後藤新平氏	1926	26.3×21	表に「1926弥一」と記載あり		後藤新平は大正5年の鉄道院総裁
84	堺時雄	不詳(雲と飛行機)	c1941	45×57			
85	堺時雄	不詳(雲)	c1941	45.5×55.5			
86	堺時雄	堺時雄(男の肖像)		55×43.5			
87	金井 弥一翁?	後藤新平氏	大正10年頃	15×10.2	「大正10年頃 後藤新平」と記載あり		
88	金井弥一翁	板垣退助	明治24年	20×14.2	「板垣退助 弥一翁写」と記載あり		明治24年新潟に来た際に撮影、弥一の写真を気に入り党員に配るということで700枚の注文があった、困惑したという記録が残っている。
89	金井 弥一翁?	秩父宮殿下の妹衛	不詳	16.5×11.2	「秩父宮殿下の妹衛」と記載あり		
90	堺時雄	大杉栄 主婦の友 掲載用(未掲載)	不詳	12.7×9.5	「大杉栄 主婦の友 掲載用(未掲載)」と記載あり		
91	金井 弥一翁?	帝展審査員	不詳	11.3×14.7	「帝展審査員一同」と記載あり		
92	金井 弥一翁?	久米正夫	不詳	12×16.7	「久米正夫」と記載あり		

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
93	堺時雄	里見瑛一家 主婦の友 掲載用	1928-33	11.4×15.2	「里見瑛一家 主婦の友 掲載用」と記載あり		
94	堺時雄	三越専属デザイナー 佛人ミスオデット	昭和六年頃	15.2×9.8	「三越専属デザイナー 佛人ミスオデット 昭和六年頃 主婦の友時代撮影」と記載あり		
95	堺時雄	オデット	昭和六年頃か?	16×11.2	「オデット」と記載あり		
96	堺時雄	オデット 主婦の友 営業写真	昭和六年頃か?	16×11	「オデット 主婦の友 営業写真」と記載あり		
97	堺時雄	ソフトフォーカス 主 婦の友 営業写真 三 好学(桜の研究者)令 嬢	1928-33	15.2×11.4	「ソフトフォーカス 主婦の友 営業写真 三好学(桜の研究者)令嬢 9696」と記載あり		
98	堺時雄	女学校運動会	不詳	15.3×10.9	「女学校運動会」と記載あり		
99	堺時雄	不詳(眼鏡をかけた外 国人A)	不詳	11.8×8	無		
100	堺時雄	不詳(眼鏡をかけた外 国人B)	不詳	11.8×8	無		
101	堺時雄	不詳(しだれ梅A)	1937年頃 か?	12×8	無		
102	堺時雄	不詳(しだれ梅B)	1937年頃 か?	12×8	無		
103	堺時雄	不詳(小品 鉢植3題)	1937年頃 か?	各8×5.5	無		
104	堺時雄	不詳(小品 鉢植2題)	1937年頃 か?	7.5×5.4 8.2×6	無		
105	堺時雄	不詳(鉢)	1937年4 月15日	12×8.2	「1937年4月15日」と記載あり		
106	堺時雄	不詳(灯台)	1936-41	9.2×14.2	無		
107	堺時雄	不詳(川)	1936-41	9.1×14.1	「舟江柳三題 朝」と記載あり		
108	堺時雄	不詳(川)	1936-41	9.1×14.1	「舟江柳三題 濃緑」と記載あり		

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真
109	堺時雄?	不詳(男の肖像)	不詳	10.3×7	無	
110	堺時雄	不詳(堀の景A)	不詳	6×8	無	
111	堺時雄	不詳(堀の景B)	不詳	6×8	無	
112	堺時雄	不詳(堀の景C)	不詳	6×8	無	
113	堺時雄	不詳(バスの男)	不詳	9×6.5	無	
114	堺時雄	不詳(川の中にいる男)	不詳	6.2×4.2	無	
115	堺時雄	不詳(旅館にて)	不詳	7.7×11.4	無	
116	堺時雄	不詳(集合写真)	不詳	12×10.4	無	
117	堺時雄	不詳 (ピアノを弾く女性)	1919-22	22.5×17	無	
金井・堺 撮影 芸術写真(豊子姉上) 板垣・後藤知事						
118	堺時雄	(花)	不詳	10×7.2	無	
119	堺時雄	(浜)	不詳	12×16.4	無	
120	堺時雄	(浜)	不詳	12×16.4	無	
121	堺時雄	(花)	不詳	12×16.2	無	
122	堺時雄	(花)	不詳	12×16.2	無	
123	堺時雄	(りんご)	不詳	7.8×16.2	無	

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
124	堺時雄	(花)	不詳	11.8×8	無		
125	堺時雄	(海)	不詳	10.3×14.2	無		紙焼写真No.70のバージョン違い
126	堺時雄	(池)	不詳	10.3×14.2	無		
127	堺時雄	(浜)	不詳	7.8×11.4	無		
128	堺時雄	(浜)	不詳	7.4×11.3	無		
129	堺時雄	(浜)	不詳	7.8×11.3	無		
130	堺時雄	(浜)	不詳	9.4×11.3	無		
131	堺時雄	(浜)	不詳	11×15.3	無		
132	堺時雄	(異人池)	不詳	10.3×14.3	無		※紙焼写真534のバージョン違い。尚、本作には大きさなどが異なるバージョンがいくつも有り
133	堺時雄	(海)	不詳	10.2×14.3	無		紙焼写真No.65のバージョン違い
134	堺時雄	(海)	不詳	10.2×14.3	無		紙焼写真No.70のバージョン違い
135	堺時雄	(花火の連作・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		台紙付
136	堺時雄	(花火の連作・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		台紙付
137	堺時雄	(花火の連作・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		台紙付
138	堺時雄	(花火の連作・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		台紙付
139	堺時雄	(花火の連作・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		台紙付

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
140	堺時雄	(花火・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		
141	堺時雄	(花火・新潟)	不詳	14.5×10.5	無		
バラ 液紙							
142	堺時雄?	キリスト教 葬式	昭和10~15	14.2×20	於天守教 昭和10~15年と記載あり		
143	金井弥一	礎町より征谷小路を望む	昭和7~8	15×10.5	昭和7~8年と記載あり		
144	金井弥一	上大川前十字路口より万代橋方面を望む	昭和7~8	15×10.5	昭和7~8年と記載あり		
145	堺時雄?	(庭)	不詳	23×17	※裏に細かく製作までのプロセスの記載あり。詳細は別紙写しを参照のこと。		
146	不詳	女性の像	不詳	13.5×8.6	画面上にサインあり		
147	金井弥一	初期自動車新発田町第1号	不詳	9.6×13.5	台紙付		
148	堺時雄?	花火	不詳	28×20.5			
149	堺時雄?	花火	不詳	28×23.5			
150	不詳	旧制高校六花寮記念祭街頭ストーム於天祐堂角	不詳	30×24.5			
151	金井銀瓶	糸柳	不詳	29.5×21.7			
152	不詳	(鰐)	不詳	21×16.5			
153	金井弥一	母子着色写真	不詳	25.5×20.5	「金井弥一翁 着色写真第一号」と記載あり。※額破損		
154	金井弥一	箆平田知事令嬢	明治24.4 ┆ 明治29.2	28×22	「金井姑上着色」と記載あり		

区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	
155 ┆ 164	堺時雄?	新潟地震・台風	昭和31年頃	7.8×11	表題作は8点、他に「踊り」が2点		
165 ┆ 215	不詳	新潟大火	昭和31年10月1日	①5.8×8.1 43点 ②8.3×12 8点	「米軍人撮影」と記載あり。なお51点中7点は海岸風景		
216 ┆ 231	堺時雄?	昭和初期(主婦の友)時代 女性風俗写真	不詳	10.2×7.8	16点		
232 ┆ 247	堺時雄?	主婦の友時代 風景	不詳	9.5×13.5	16点		
248 ┆ 252	金井弥一?	笹平田知事及令嬢 大津参事官夫人	不詳	16.5×10.5	5点		
253 ┆ 329	堺時雄?	主婦の友時代	昭和5~8		77点		
330 ┆ 346	堺時雄	美校時代	不詳		17点		
347 ┆ 464	堺時雄	航空写真	不詳		「東新潟アトリエ」と記載あり 118点		
465 ┆ 526	堺時雄	主婦の友時代	不詳		62点(内広告2点)		
527	不詳	男の肖像	不詳	25.4×19.2			
528	不詳	男の肖像	不詳	22.2×15.8			
529	不詳	男の肖像	不詳	27.8×12.5			
530	不詳	男の肖像	不詳	21.8×16			
531	堺時雄	レクイエム	1992	50×65.5			
532	堺時雄	《芸術は不朽》あるいは 《秘魂の墓》	C1920	55×42.5			
533	堺時雄	下萌	1926	20×54.3	「北越新潟之堺時雄」と記載あり。		
534	堺時雄	早春	S2年2月	38×56.5			

堺時雄及び関連資料Ⅱーガラス原板

※ガラス原板の箱は3箱あり、それぞれに便宜的に①～③と名称を付けた。尚、箱①と③については藤田主任学芸員、箱②については桐原主任学芸員が調査・記録を行った。

箱①						件数		
						ガラス	紙焼き	フィルム
名称不詳						19		
1	堺時雄	(異人池)	不詳	11.8×16.2	※紙焼きに同じ作品がある			
2	金井弥一	(鼻眼鏡をかけた男)	不詳	21.5×16.5				
3	金井弥一	(鼻眼鏡をかけステッキを持った男)	不詳	21.5×16.5				
4	金井弥一	(鼻眼鏡をかけた男)	不詳	21.5×16.5				
5	金井弥一	主婦友にて 大平家族	不詳	21.5×16.5	[主婦友にて 大平家族]と記載あり			
6	金井弥一	(一人の男)	不詳	21.5×16.5				
7	堺時雄		昭和12年11月26日	21.5×16.5	袋に「T.S. ホ」 原盤に「938ベビーホーム様」と記載あり			
8	金井弥一?	小柳文円	不詳	21.5×16.5	[小柳文円]と記載あり			
9	金井弥一?	友人 吉田ケン吉	昭和11年1月1日	21.5×16.5	袋に「友人 吉田ケン吉 No.100 青木信次郎」と記載あり			
10	堺時雄?	ソフィア シャルフェーフエ	昭和11年3月24日	21.5×16.5	[美 ソフィア・シャルフェーフエ]と記載あり			
11	金井弥一	カトリック教会 葬式	昭和12年9月11日	21.5×16.5	袋には「カトリック教会 葬式 872 野島権四郎 名刺ニシテ一組」とあり、ガラス原盤本体には「13年5月10日 石森喜代末」とあり			
12	金井弥一	カソリック教会 葬式	昭和13年4月	21.5×16.5	[13.4 ベビーホームとあり]			
13	堺時雄	吉塚山子戌	昭和12年6月26日	21.5×16.5	[T.S. 吉塚山子戌 12.6.26]と記載あり			
14	堺時雄?	場卯三郎	不詳	21.5×16.5	[場卯三郎 827 2枚]と記載あり			
15	堺時雄		昭和12年7月11日	21.5×16.5	[T.S. 野島権四郎]と記載あり			
16	堺時雄		不詳	21.5×16.5	[T.S.]と記載あり			
17	堺時雄		不詳	21.5×16.5	[T.S. 番外]と記載あり			
18	金井弥一?	小沢天来	不詳	21.5×16.5	[番外 小沢天来]と記載あり			
19	堺時雄	吉町二吉	不詳	21.5×16.5	[美 吉町二吉]と記載あり			
旧姓高等学校						6		
1	堺時雄		昭和14年1月21日	12×16.8	[新井清一様]と記載あり			
2	堺時雄		昭和12年10月24日	12×16.8	[915 宮坂ユキ子]と記載あり			
3	堺時雄		昭和12年1月31日	12×16.8	[540 山内繁雄]と記載あり			
4	堺時雄	(火鉢にあたる学生たち)	不詳	12×16.8				
5	堺時雄	(勉学に励む学生たち)	不詳	12×16.8				
6	堺時雄	関屋知事	昭和12年12月7日	12×16.8	[944 関屋知事 大刀]と記載あり			
羽賀家関係						12		
1	堺時雄	羽賀さん 四ヶ月の令子	昭和8年7月9日	12×16.8	[羽賀さん 四ヶ月の令子 オリエンタルポートレート]と記載あり ※尚、薄紙がガラス原板に付着しており、引きはがすことは不可能。			
2	堺時雄	(女性の横顔)	不詳	12×16.8				
3	堺時雄	羽賀さん 四ヶ月の令子	昭和8年7月9日	12×16.8	[羽賀さん 四ヶ月の令子 オリエンタルポートレート]と記載あり ※尚、薄紙がガラス原板に付着しており、引きはがすことは不可能。			
4	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
5	堺時雄	(家族の肖像)	不詳	12×16.8				
6	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
7	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
8	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
9	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
10	堺時雄	(子ども)	不詳	12×16.8	※ガラス原板と表面に剥離があり			
11	堺時雄		昭和12年8月25日	12×16.8	[番外 羽賀様]と記載あり			
12	堺時雄		昭和12年8月25日	12×16.8	[番外 羽賀様]と記載あり			

箱①						件数		
						ガラス	紙焼き	フィルム
営業写真 (本館時代)								
箱に「昭和拾貳年五月撮影せる物 番号をつける事」に記載あり								
1	堺時雄		昭和12年	12×16.8	「清野様 カビネ 斎藤政太郎」と記載あり	22		
2	堺時雄	(女性の肖像)	不詳	12×16.8	「清野様 カビネ 斎藤政太郎」と記載あり			
3	堺時雄	(男性の肖像)	不詳	12×16.8				
4	堺時雄	(男性の肖像)	不詳	12×16.8				
5	堺時雄	渡辺兼久	昭和13年3月17日	12×16.8	「1078 渡辺兼久」と記載あり			
6	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
7	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8	「斎藤政太郎」と記載あり			
8	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8	「斎藤政太郎」と記載あり			
9	堺時雄	(女性の像)	昭和14年6月9日	12×16.8	「師範校長 永島意文助」と記載あり			
10	堺時雄	(二人の女の子)	昭和14年6月9日	12×16.8				
11	堺時雄		昭和14年10月25日	12×16.8	「高野」と記載あり			
12	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
13	堺時雄	小林ミドリ	昭和9年8月	12×16.8	「小林ミドリ」と記載あり			
14	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
15	堺時雄		昭和12年12月30日	12×16.8	「963 中川様」と記載あり			
16	堺時雄	(男の肖像)	不詳	12×16.8				
17	堺時雄	近藤モト子	昭和12年5月2日	12×16.8	「777 近藤モト子」と記載あり			
18	堺時雄	(兵士の肖像)	昭和14年9月14日	12×16.8	「青木 大力」と記載あり			
19	堺時雄	(兵士の肖像)	昭和14年9月11日	12×16.8	「アオキ」と記載あり			
20	堺時雄	(兵士の肖像)	昭和14年9月11日	12×16.8	「アオキ」と記載あり			
21	堺時雄	(兵士の肖像)	昭和14年9月11日	12×16.8	※ガラス原板と薄い紙が付着			
22	堺時雄	(兵士の肖像)	昭和11年1月1日	12×16.8	「青木信次郎」と記載あり ※ガラス原板と薄い紙が付着			
営業写真 (本館時代)								
1	堺時雄	(和服の女性)	昭和10年12月 ※本体には昭和14年10月28日と記載あり	12×16.8	袋には「船橋芳郎」、本体には「斎藤政次郎」と記載あり	23		
2	堺時雄	(二人の女性)	昭和13年1月5日	12×16.8	「978 須藤三符」、「98 小林ミドリ」と記載			
3	堺時雄	(和服の女性)	昭和11年10月	12×16.8	「内藤和子」と記載あり			
4	堺時雄	(男の肖像)	不詳	12×16.8				
5	堺時雄	(女の肖像)	不詳	12×16.8	「斎藤政太郎」と記載あり			
6	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
7	堺時雄	(男の肖像)	不詳	12×16.8				
8	堺時雄	大倉武司	昭和11年5月16日	12×16.8	「大倉武司 No.330」と記載あり			
10	堺時雄	(和服の女性)	不詳	12×16.8				
11	堺時雄	(洋装の女性)	不詳	12×16.8	「田代様」と記載あり			
12	堺時雄	(洋装の女性)	不詳	12×16.8				
13	堺時雄	(洋装の女性)	不詳	12×16.8				
14	堺時雄	(二人の子ども)	昭和14年4月15日	12×16.8	「渡辺兼久様」と記載あり			
15	堺時雄	(ひなまつり)	昭和13年3月5日	12×16.8	「1070 深沢」と記載あり			
16	堺時雄	(和服の女)	昭和14年5月18日	12×16.8	「萩野様」			
17	堺時雄	(小さい水兵さん)	昭和12年1月3日 ※本体には昭和14年11月15日と記載あり	12×16.8	「舟越力一 高野」と記載あり			
18	堺時雄	(和服の女)	昭和13年11月20日	12×16.8	「斎藤文吉 1339」と記載あり			
19	堺時雄	(男女の肖像)	昭和10年10月2日 ※本体には昭和14年10月13日と昭和13年10月13日と記載あり	12×16.8	「山ノ下 日石商舎 馬場金吾」と記載あり			

箱①						件数		
						ガラス	紙焼き	フィルム
20	堺時雄	(男の肖像)	昭和14年7月12日	12×16.8	「藤シマ主殿」と記載あり			
21	堺時雄	(赤ん坊)	昭和14年9月6日	12×16.8	「仁田女蔵」と記載あり			
22	堺時雄	(二人の子ども)	昭和14年4月15日	12×16.8	「渡邊兼二」と記載あり			
23	堺時雄	(和装の女)	昭和14年5月6日	12×16.8	「13.73 渡邊森ゾー」と記載あり			
営業写真 (本館時代)								
1	堺時雄	田中緑 (和装の女)	昭和11年5月15日	12×16.8	「No.329」と記載あり	18		
2	堺時雄	伊藤 (和装の男)	昭和11年10月17日	12×16.8	「No.444」と記載あり			
3	堺時雄	宮田力	昭和9年5月	12×16.8				
4	堺時雄	(女性の脚)	不詳	12×16.8				
5	堺時雄	(女性の脚)	不詳	12×16.8				
6	堺時雄	(結婚式)	昭和13年1月	12×16.8	「福田」と記載あり			
7	堺時雄	(結婚式)	昭和13年4月18日	12×16.8	「大谷様」と記載あり			
8	堺時雄?	(女と子ども)	不詳	12×16.8				
9	堺時雄?	(花嫁)	昭和13年2月18日	12×16.8	「島本」と記載あり			
10	堺時雄?	(婦人)	昭和12年6月29日	12×16.8	「北越製紙」と記載あり			
11	堺時雄?	(親子)	不詳	12×16.8				
12	堺時雄?	(ダンス)	不詳	12×16.8				
13	堺時雄?	(和装の婦人)	不詳	12×16.8				
14	堺時雄?	鏡木清方画伯令嬢	昭和9年5月	12×16.8				
15	堺時雄	私 (堺自身か?)	不詳	12×16.8				
16	堺時雄	(展示風景)	昭和12年11月20日	12×16.8	「萬代デパート 山上」と記載あり			
17	堺時雄	(和装の女性)	昭和11年5月5日	12×16.8	「田中純」と記載あり			
18	堺時雄?	(弓)	昭和12年1月17日	12×16.8				
交友関係 天地居士、フィッシャー (旧高先生)、宮田、山文								
1	堺時雄	(親子)	昭和13年4月29日	12×16.8	「山文事西沢氏 1122」と記載あり	4		
2	堺時雄	(五人家族)	昭和14年3月26日	12×16.8	「宮田印房」と記載あり			
3	堺時雄	フィッシャー家	昭和12年12月25日	12×16.8	「フィッシャー」と記載あり			
4	堺時雄	フィッシャー家	昭和12年12月25日	12×16.8	「フィッシャー」と記載あり			
和楽庵 (本館時代)								
1	堺時雄	(お茶)	昭和13年10月2日	12×16.8	「志賀」と記載あり	14		
2	堺時雄	(お茶)	昭和13年10月2日	12×16.8	「志賀先生」と記載あり			
3	堺時雄	(お茶)	昭和13年10月2日	12×16.8	「志賀」と記載あり			
4	堺時雄	(お茶)	不詳	12×16.8				
5	堺時雄	(お茶)	昭和13年10月2日	12×16.8	「志賀」と記載あり			
6	堺時雄	(お茶)	昭和13年10月2日	12×16.8	「志賀」と記載あり			
7	堺時雄	(お茶)	昭和13年10月2日	12×16.8	「安藤」と記載あり			
8	堺時雄	不動院献茶式	昭和12年10月3日	12×16.8				
9	堺時雄	縣立高女四年五組	昭和12年2月	12×16.8				
10	堺時雄	(お茶)	不詳	12×16.8				
11	堺時雄	(お茶)	不詳	12×16.8				
12	堺時雄	(お茶)	不詳	12×16.8				
13	堺時雄	(お茶)	不詳	12×16.8				
14	堺時雄	不動院献茶式	昭和12年10月3日	12×16.8				
ワーリア・オルガ								
1	堺時雄	(ワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8				
2	堺時雄	(和装のワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8				
3	堺時雄	(ワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8				

箱①						件数			
						ガラス	紙焼き	フィルム	
4	堺時雄	(横を向くワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8		12			
5	堺時雄	(ワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
6	堺時雄	(窓に佇むワーリア・オルガ)	昭和12~19年	12×16.8	[昭和12年2月3日]と記載が直され[昭和19年2月3日]と記載あり				
7	堺時雄	(窓辺のワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
8	堺時雄	(ワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
9	堺時雄	(着物を着たワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
10	堺時雄	(目を伏せるワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
11	堺時雄	(上を向くワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
12	堺時雄	(髪に触れるワーリア・オルガ)	不詳 (昭和12~19年)	12×16.8					
桜と扇 カマキリ他									
1~8	堺時雄	ガラス		12×16.8			8		
1~3	堺時雄	紙焼き		12×16.8				3	
歴代市長 後藤新平									
1~8	堺時雄	ガラス		16.4×12		8			
1	堺時雄	紙焼き		12×8.8			1		
金井、堺、関係人物 かほる 栄子									
1~20	堺時雄	ガラス		12×16.8		20			
1	堺時雄	紙焼き		12×16.8			1		
金井弥一翁と母									
1~9	堺時雄	ガラス		12×16.8		9			
主婦の友之時代 日比谷公園内料亭(東京)松本樓家族									
1~6	堺時雄	ガラス		12×16.8		6			
1	堺時雄	アクリル板		12×16.8				1	
美術品写真(複写)									
1~16	堺時雄	ガラス		12×16.8		16			
美術品写真(複写) 古記文常助、安部衛書簡、安田鞆彦									
1~18	堺時雄	ガラス		12×16.8		18			
花(1.名骨横顔、ひなげし、すすき、和楽庵にて茶 とし子、いわ子)									
1~19	堺時雄	ガラス		12×16.8		19			
航空写真その他 第二大隊、犬山○道									
1~8	堺時雄	ガラス		12×16.8		8			
1	堺時雄	アクリル板		12×16.8				1	
1	堺時雄	紙焼き		12×16.8			1		
特殊 建物撮影(大礼服等)									
1~12	堺時雄	ガラス		12×16.8		12			
花(主婦之友、本館時代)(雪窓)岡田雄二「カトリックの雪」石渡「女子ダイビング」									
1~16	堺時雄	ガラス		12×16.8		16			
主婦の友時代(時雄像)									
1~13	堺時雄	ガラス		12×16.8		13			
昭和12年 広告写真									
1~18	堺時雄	ガラス		12×16.8		18			
1~11	堺時雄	紙焼き		12×16.8			11		

箱①						件数		
						ガラス	紙焼き	フィルム
大連郊外地(美校時代) 関 新薬師寺 ガイコツ 13.2と記載あり								
1~12	堺時雄	ガラス		12×16.8	「美大→本館Ⅰ時代 本館Ⅱ時代 習作」と記載あり	12		
主婦の友時代 複写元32 踊り2枚 風景(本館時代)								
1~11	堺時雄	ガラス		12×16.8		11		
日本ライン								
1~10	堺時雄	ガラス		12×16.8		10		
箱①合計						334	17	2

箱②						件数		
						ガラス	紙焼き	フィルム
1~9	銀色のアグファの箱「復写」 ガラス原版9点			12×16.3	文書などの複写	9		
1~15	コダックの箱「人物、シャル フェ、オリガ、他/制作、数点」 ガラス原版15点	1938-39 ?		12×16.4	《滝 各務原》《営業用人物》(眼鏡をかけた男性肖像)《大平様御 夫妻》(裏面「北山浄光寺」昭和13年11月21日撮影)《(夫妻坐像)》 (裏面「志賀様」昭和12年1月5日撮影)《(女性の腿からしたの 両足)》(裏面「平松様」昭和13年10月23日撮影)《(女性の腿から したの両足)》(裏面「藤井様」昭和13年4月20日撮影)《(結婚記念 夫妻像)》(裏面「番外」昭和10年3月17日撮影)《(作品原版)》《(た ばこHopeの写っているもの)》《(風景)》《(偶然のダブルウォーク)(二 重写しのこと)》《(琴を弾く女性)》(原版に「カ1478梁取 14.3.13)》 《オリガ・シャルフェフ》《オリガ・シャルフェーフ》《オリガ・シャ ルフェフ》	15		
1~19	「営業写真(名士多)弥一翁写」 ガラス原版19枚	1915-1919 ?		12×16.3	《(知事坂正臣?)》(上部が円弧状に欠損)《(東郷平八郎元帥(絵画複 写))》《(男性像)》(写真複写)《(石井警視)》(14.6.22 山田匡(?)郎 《(中条)》(大正8年1月3日 木村教?郎)《(金子直弘)》(男女正座 像、披露宴?)《(男性膝上像)》《(具役人 村井氏?)》《(白金 関川 年(重?)安 大正4年12月22日)》《(裁判所長)》《(白金 加勢清雄 大 正4年11月10日)》《(男性上半身像)》《(日比野雷風)》《(大熊重信翁)》(右 上欠損)《(前田正名翁)》《(三松知事)》《(国分大尉 十六連隊)》	19		
1~13	ORIENTAL PORTRAIT SPEEDY PLATES の箱「花 蓮.水蓮.ふき」 ガラス原版13枚	1933 ?		10.7×8.2	《(雨後の睡蓮昭和8年7月15日)》《(睡蓮)》《(睡蓮)》《(睡蓮)》 《(池の魔力 昭和8年7月15日)》《(睡蓮)》《(睡蓮)》《(睡蓮)》《(睡 蓮)》《(雨後の睡蓮 昭和8年7月15日)》《(ふきのとう?)》《(ふき のとう?)》	13		
1~14	FUJI DRY PLATES A1の箱 「旧高校寮祭(本館時代) S.14 年」[昭和13年5月-9月] ガラス原版14枚	1939 ?		10.7×8.2	(特にタイトルらしきものしるされておらず)	14		
1~2	FUJI PORTRAIT PLATESの 箱「復写」[複写 芋銭、時宗] ガラス原版2枚			10.7×8.2	《(芋銭)》(書物の中の肖像図版の複写)《(北条時宗 復写)》	2		
1~13	FUJI DRY PLATES A1の箱 「雪 他 税関 新潟造船所」 「税関・雪・新潟造船所」 ガラス原版13枚			10.7×8.2	《(雪)》《(不詳)》《(つらら?)》《(雪)》《(新潟造船所)》《(船)》《(浜?)》《(船)》 《(船)》《(船)》《(税関)》《(税関)》《(税関)》	13		
1~13	APM PLATES NOSKRENE の箱「スケッチ 西堀時代(本 館時代)」「普風景 新潟、寒 山寺」 ガラス原版13枚 ネガフィルム1枚			10.7×8.2	《(光林寺)》《(光林寺)》《(光林寺)》《(大平良平氏(中学時代))》《(大平佳郎 氏(?)》《(砂丘(新潟))》《(日本海の波)》《(カトリック教会)》《(異人池 カ トリック教会)》《(本館二階より)》《(本館二階より)》《(夏草)》《(ぶどう)》(こ れのみフィルムのネガ 8.1×10.8 角一箇所欠損)《(蓮池)》	13		
1~11	「習作(本館時代)」 ガラス原版11枚 ネガフィルム2枚	※注 この箱のもの の全体に状態悪い。 1辺が湿気で袋と 原版が張り付いて いる。		10.7×8.2	《(不詳)》《(ネガフィルム同封)》《(海岸に掲げられた旭日旗)》《(翻 る旭日旗)》《(競が(二輪馬車の競走)》《(競が(二輪馬車の競走)》《(競 馬)》《(不詳)》《(ネガフィルム)》《(こいのぼり)》《(光輝ある海軍)》《(翻 る旭日旗)》《(旗)》《(旗)》《(吹流し)》	11		
1~4	アグファの箱「時雄(幼児~)」 ガラス原版4枚			10.7×8.2	《(志麻温泉の山頂/時雄(美校二年) / 森先生写)》《(富士山頂(主婦 の友時代) / 堺時雄)》《(堺時雄(幼稚園))》《(堺時雄(一才))》	4		

箱②		件数					
		ガラス	紙焼き	フィルム			
1~11	FUJI DRY PLATES A1の箱 「作品(習作) 庄内町」 ガラス原版枚11 ネガフィルム3枚		10.7×8.2	《(電車)》《(線路修繕の俯瞰図)》《(線路修繕)》《(浅瀬船)》(ネガ、ほぼ同構図で2枚)《(浅瀬船の一部)》(ネガ)《(浅瀬作業)》《(櫓)》《(窓の雨)》(雨見えず、袋別か?)《(指とフィンガーチョコ)》《(花瓶の花)》《(静物 菓子)》《(習作) (花瓶の花)》《(習作 フィンガーチョコ)》	11		
1~11	FUJI PORTRAIT PLATESの箱 「都内スケッチ(主婦の友時代)」 「街」 ガラス原版11枚 ネガフィルム1枚+7枚		10.7×8.2	ネガフィルム7枚(4.5×7.3、片側のみ状態ひとし) 《(煉瓦のアーチのある入り口)》《(我が街の雑音 昭和8年7月14日)》《(街景、建物)》(遠くに教会の尖塔の十字架が見える)《(Y W C Aの建物)》《(街景、建物)》《(建物)》(遠くにアドバルーンが見える)《(人気のない通り)》(ネガフィルム)《(建物の間)》《(煉瓦造りの建物のある通り)》《(駅に止まっている電車)》《(煉瓦造りの建物のある通りにクラシックカー)》《(ニコライ堂?)》	11		
1~21	Eastman PLATESの箱「船 (横浜港)」 ガラス原版21枚 ネガフィルム6枚		10.7×8.2	《(ロープを整える?二人)》《(船)》(ネガフィルム)《(Ship "Coal"か? 昭和8年2月18日)》《(船外観清掃)》(ネガフィルム)《(船)》(ガラスから塗膜が剥離)《(船外観清掃)》(ネガフィルム)《(杭を打つ人)》《(不詳)》(ネガフィルム)《(影[?])》(文字読めず)《(船外観清掃)》(ネガフィルム)《(船)》(ガラスから塗膜が剥離)《(船外観清掃)》(ネガフィルム)《(船側面浮き輪)》《(船首、仰角)》(塗膜剥離)《(帆柱)》《(舷側、DAR POMORZA)》《(船尾)》《(船全図)》(一部塗膜剥離)《(船首)》《(舷側、船尾より)》《(船、斜め前方より)》(一部塗膜剥離)《(舷側、斜め前方より)》《(甲板の二人物、仰角)》《(波)》《(影[?文字読めず] 昭和8年2月18日)》《(機銃かの船)》《(Ship "Coal"か? 昭和8年2月18日)》	21		
1~6	Agfa Isochrom-Plattenの箱 「左内町時代」 ガラス原版6枚	不詳	10.7×8.2	《(俯瞰で見た子供一人)》(昭和8年7月10日)《(ブランコをこぐ子供)》《(長延寺校庭)》《(芳賀弓雄さん)》(ガラス原版よりフォルム収縮剥離ひどい)《(不詳)》(ガラス原版よりフォルム収縮剥離ひどい)《(不詳)》(ガラス原版よりフォルム収縮剥離ひどい)	6		
1~5	FUJI PORTRAIT PLATESの箱 「弥一翁、瀬[?]田氏」「13.9月-10月」 ガラス原版5枚	不詳	10.7×8.2	《(小柳牧衛様)》《(父)》《(父 左内町に於て)》《(潮田様)》	5		
1~20	FUJI DRY PLATES A1の箱 「異人池(本館時代)」 「赤外線(新潟)」 ガラス原版20枚、 ダイレクトプリント1枚	不詳	10.7×8.2	《(異人池)》(原版右下に署名 T.Sakai)《(異人池)》《(異人池)》《(冬枯れのポプラ?)》《(新潟カトリック教会の尖塔)》《(冬枯れのポプラ?)》《(冬枯れのポプラ?)》《(異人池)》《(異人池)》(ダイレクトプリントが付属)《(異人池 猫山医院前の坂道より)》(「猫山~」はペン書き、別人か?)《(異人池 猫山医院前坂道より)》(先に同じ)《(新潟カトリック教会)》《(新潟カトリック教会)》《(異人池)》《(砂丘)》《(砂丘)》《(砂丘)》《(砂丘)》《(砂丘)》	20		
1~6	FUJI PORTRAIT PLATESの箱 「航空」「航空」 ガラス原版6枚	不詳	10.7×8.2	《(航空写真)》《(不詳、手と上半身の影が映っている)》《(飛行機のプロペラ)》《(飛行機)》(機種名「第十義勇」会社名「ISHIKAWAJMA AIRCRAFT CO.LTD.TOKYO」が読める)《(二人乗り飛行機の操縦席)》《(複葉機)》	6		
1~16	FUJI DRY PLATES A1の箱 「生物」 ガラス原版16枚	不詳	10.7×8.2	《(日傘をさす婦人に桜)》《(八重桜を見る婦人)》《(草の束を掲げる婦人)》《(風景の中の日傘をさした和装婦人)》《(風景の中の和装婦人)》《(風景の中の和装婦人2)》《(風景の中の和装婦人3)》《(砂浜で頭にボールを掲げる女性)》《(砂浜で頭にボールを掲げる女性)2》《(犬を連れる和装婦人)》《(犬を連れる和装婦人2)》《(羽化する蝶)》《(仔ヤギ)》《(仔ヤギ)》《(仔ヤギ)》《(ヤギの親子)》	16		
1~20	ORIENTAL PORTRAIT SPEEDY PLATESの箱 「スケッチ(主婦の友時代)」 「花 桜、梅、椿、虞美人草」 ガラス原版20枚	不詳	10.7×8.2	《(奥多摩)》《(靴みがき/靴屋の手 昭和8年2月18日撮影 於西銀座)》《(さくら/城門の桜花 昭和8年4月)》《(さくら/上野末[?])》《(照宅の桜 昭和8年4月)》《(さくら/上野京[?])》《(照宅桜 昭和8年4月)》《(梅)》(袋に一部張り付き)《(都内早春スケッチ)》《(梅の蕾)》(袋に一部張り付き)《(上野のさくら/桜 新潟)》《(ひなげし)》《(椿 惜春/山椿一輪 昭和8年4月)》(袋に一部張り付き)《(椿/山椿一輪 昭和8年4月)》(袋に一部張り付き)《(椿/山椿一輪 昭和8年4月)》(袋に一部張り付き)《(八重ざくら)》《(市ヶ谷宅二階より)》《(赤坂弁)》	20	1	13
箱②合計					229	1	13

箱③						件数		
						ガラス	紙焼き	フィルム
雲 昭和11年9月24日と一部に記載								
1~11	堺時雄	ガラス		12×16.8		10		
民×手紙(着物の柄) 昭和11年3月と一部に記載								
1~9	堺時雄	ガラス		12×16.8		9		
上一枚四幅入九 フィルム昭和10年頃民 赤外線写真2点(ガラス)								
1~2	堺時雄	赤外線写真ガラス		12×16.8		2		
		35mmフィルム 切れ端						28
名称無し(T548J2020Tと記載あり)								
1~5	堺時雄	ガラス		12×16.8		5		
		大判ガラス		16.5×21		5		
幼時代								
1~10	堺時雄	ガラス		8×11		10		
自137枚昭和4年10月10日より3週間予備役として立川へ召集中に撮影スル								
1~48	堺時雄	フィルム		8×10.8		10		48
名称無し 野島×四郎 昭和12年9月11日								
1~2	堺時雄	ガラス		16.8×21		2		
高校ストーム								
1~2	堺時雄	ガラス		12×16.5		2		
志賀、大平、糸板及新潟風景、異人池								
1~6	堺時雄	ガラス		12×16.8		6		
		紙焼き		10×15.2				2
銘刀 原板 昭和11年								
1~17	堺時雄	ガラス		12×16.8		17		
大平 堺時雄 原板 昭和13年								
1~22	堺時雄	ガラス		12×16.8		22		
西堀 浜辺 異人池(風景) 昭和8、昭和11、昭和13、1921と記載あり								
1~14	堺時雄	ガラス		12×16.8		14		
		紙焼き		12×16.8				1
番外 羽賀家、山田家 昭和10								
1~8	堺時雄	ガラス		12×16.8		8		
主婦友								
1	堺時雄	ガラス		8×10.5		1		
		16mmネガ						1
		印画紙(未使用)						
		ガラス版(赤と青)						
高租願有								
1~9	堺時雄	ガラス		12×16.8		9		
名称無し G3142 44 45 昭和12								
1~11	堺時雄	ガラス		12×16.8		11		
1	堺時雄	ガラス		8.2×10.8		1		
		フィルム		8.2×10.8				10
旧高校アルバム用 昭和12年								
1~11	堺時雄	ガラス		12×16.8		11		
箱③合計						155	3	87

堺時雄及び関連資料Ⅲ－その他資料

※その他資料の調査・記録について1～24までは桐原主任学芸員、25以降は藤田主任学芸員が行った。

	区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	備考2	
1		不詳	昭和初期新潟風景写真絵葉書15点	昭和初期	9×14	金井写真館の紙袋入り。表にマジックで「昭和初期新潟風景」。写真の絵葉書。それぞれ裏面に題あり。			()内は調査者による補足メモ
2	1	堺時雄	中沢信一氏	不詳	15.7×10.8	右下に署名[T.Sakai]。台紙に貼り付け(台紙寸27.4×20.8、台紙に「新潟金井写真館本店」)。台紙裏面に「中沢信一氏 結婚」。袋入り(表紙中央に木をデザインした模様。袋表に鉛筆で「中沢信吉氏」)。	あり		「」は記載情報
3	1	金井弥一	旅の跡 弥一翁 佐渡旅情・他 9点	不詳	各種(うち最大17×11.4)	堺時雄宛の共栄美術倶楽部の封筒に入っている。表に墨で「旅の跡」鉛筆で「弥一翁佐渡旅情・他」。	あり	台紙貼り付けのもの(裏面にペンで「旧村松領／真鯉の池／伝説あり／撮影者金井弥一」)裏面に鉛筆で「弥一翁／バリ万博出品作品／銀杯受賞」	
4	9	不詳	父母 9点	不詳		堺時雄宛の共栄美術倶楽部の封筒に入っている。表に青鉛筆で「父母 天池居士」。	あり		
5	18	不詳	35ミリダイレクトプリント コマ切れ 18点	不詳	コマ 38×24	飛行機に金井本店とあるスタンプのある封筒に入っている。茶会の様子か？	あり		
6	ネガ	不詳	本居姉妹 6×9 ネガ	不詳	112×81	ハトロ紙の袋に鉛筆書きで「本居姉妹」			
7	1	不詳	金井家母堂、幸二兄	1930	24.6×30	裏面に鉛筆で「金井家母堂／幸二兄／昭和5年」			
8	1	金井弥一	新潟芸妓	不詳	27×20.5(画寸)	扇子を持つ芸妓の膝上立姿。裏面鉛筆で「新潟芸妓 弥一翁写」			
9	1	金井弥一	(片手に書物持ち、読む女性)	不詳	27×20.5(画寸)	裏面鉛筆で「弥一翁写」			
10	1	不詳	(幼児)	不詳	23.6×30.2	書き込みなどなし			
11	23	不詳	幼児、母子、家族など23点	不詳		いくつか裏面書き込みあり			
12	1	不詳	滝沢写真館の紙袋	不詳	16.4×22.6				
13	1	不詳	金井光子様	不詳	22.9×11.8	裏面鉛筆で「金井光子様」			
14	1	不詳	光子様 女学校 二年生頃	不詳	23×12	裏面鉛筆で「光子様 女学校二年生頃」。「金井光子様」と同画像。			
15	1	不詳	(女性椅像)	不詳	13.4×9.3	台紙に貼り付け。右下エンボスで「S.KAWABATA」			
16	4	不詳	金井一門 4点(和装の子供、砂浜の人物5人、鹿と人物3人、禪姿の男たち)	不詳		飛行機に金井本店とあるスタンプのある封筒、表に青鉛筆で「金井一門」。紙焼きはいずれも書き込み等なし。	あり		
17	1	不詳	(腕組みをする青年上半身)	不詳	10.3×7.2	台紙貼り付け。台紙右下に印刷で「Y.Hasegawa Tokyo, Japan」。裏面鉛筆で「長谷川保定氏入門時長兄」			
18	新聞切り抜き		新聞切り抜き(大正天皇御大葬新聞切れ)			小林百貨店の包装紙に包まれている。破れひどい。新聞名、日時不詳。			
19	22	不詳	紙焼き22点						
20	1	不詳	(宴会記念写真)	1955年	7.9×11.6	右下スタンプで日付「1955.9.25」			
21	1	不詳	(万代橋)複写?	不詳	7.5×11				

	区分	撮影者	作品名	制作年	サイズ	備考	作品写真	備考2
22	箱書き「金井家一門写真」 (Mercianの箱)	1	不詳	集合写真複写		7.7×11.1	裏面万年筆で「明治三八・九／大日本護国幼年会県支部／発令式 旧新師玄閣 103名」	
23	箱書き「金井家一門写真」 (Mercianの箱)	1	不詳	(外国人の少女)	不詳	428×262	丸めてあり巻き癖強い。書き込み等なし	
24	箱書き「金井家一門写真」 (Mercianの箱)	91		紙焼き91点、ネガ1、絵葉書15、切り抜き1				
25	堺時雄 所蔵写真			明治写真 台紙貼り I. 20枚 II. ①20枚 ②20枚 ③18枚 III. 10枚 IV. 12枚 V. 7枚 台紙無しバラ 27枚		台紙 6×10.3 台紙無し 5.3×8		
26	堺時雄 所蔵写真			奈良八景写真図 大和名所写真図 大和奈良名所図 (明治人物写真帳)		10.8×6.5×2 4冊		
27	堺時雄所蔵品			ヒルム(フィルム) ケース		20×26×1.8	箱に「人物」と記載	
28	堺時雄所蔵品			ヒルム(フィルム) 箱 フィルム22点 ガラス原盤1点 (紙焼は作品として存在) フィルム箱1点 (粟島白黒と記載)				
29	堺時雄所蔵品			絵葉書帳		19×13.8×2.5	「絵葉書 三国吉枝 明治四拾参年 尋常小学校 1月24日」と記載あり	
30	堺時雄所蔵品			16mmフィルム			「撮影当主一風景 (2) 露光一適当、ネガのまま送られたし 編集は不要」と記載あり	
31	堺時雄所蔵品			フィルム缶の中に現像フィルム 15本				
32	堺時雄			アルバム 大戦 中写真中心		31×25×4		
33	堺時雄			アルバム 戦前 風景写真中心		27×35.5×5		
34				写真たて		12.5×11.8	3個	
35				鶏卵代(印画紙)		22.5×14	2点 ※Mati-Albumin Postkartenと記載あり	
36				不詳		16×11	Rhoda Lumiere-Jouglaと記載あり	

7. 終わりに

今回の寄贈作品を整理することで、最初に述べた通り、下岡蓮杖から鈴木真一、そして金井弥一から堺時雄へと連なる日本写真史の一系譜を作品を通じて眺めることができる。しかし、堺時雄及び金井弥一の作品調査・研究はまだまだ始まったばかりであり、大きな戦争を経ている事や新潟市内の大火や洪水など、様々な天災により多くの資料が失われているため、あまりにも情報は少なく、全貌が見えてくるのはこれからの作業となると考えられる。しかしながら、前述の詳細なリストと分類が掲載された金子隆一氏による「東京都写真美術館収蔵の堺時雄関係資料」が近年になって発表されたことを考えると、希望が見えないこともない。本稿を見て何か情報や誤りなどご指摘頂ければ幸いである。なお、最後になりましたが、貴重な作品及び資料をご寄贈下さいました堺時雄氏のご遺族にあらためて心より御礼申し上げます。

(新潟県立万代島美術館主任学芸員)